

# 質問回答書

令和7年11月4日

件 名 次期福祉保健システムにおける外付けシステム導入に向けた実現性調査委託

項目	質 問	回 答
《委託仕様書 1 頁》 4 履行場所	「発注課、委託者が指定する作業場所」とありますが、リモートワーク環境での作業は可能でしょうか。可能な場合、リモートワークが認められる作業範囲（設計・開発・テスト等）をご教示ください。	原則として、設計、開発及びテスト作業で福祉保健システムと直接連携をしない場合にはリモートワークでの作業は可能です。仮に当課が所管する福祉保健システムと直接連携するテスト等を行う場合には、リモートワークでの対応は不可となります。
《委託仕様書 2 頁》 6 (1) 定例会議等の開催	月次定例会議、キックオフ会及び最終報告会について、Web 会議システム（Teams、Zoom 等）での参加・開催は可能でしょうか。	可能です。
《委託仕様書 3 頁》 7 本委託を実施するための機能要件	「調査対象とする外付けシステムは以下に掲げる機能をすべて実装」と記載されていますが、プロトタイプ開発を行い実現性の調査に必要なミドルウェア、開発ツール、稼働環境等全て受託者が本委託業務内で提供するという認識で間違いないでしょうか。	プロトタイプ開発とそれに必要なミドルウェア、開発ツールについては受託者にて提供をいただくものとなります。なお稼働環境については、オンプレミス上又はクラウド環境上での実装を想定していますが、提供方法については契約締結後の協議事項となります。
《内訳書》 2 プロトタイプの開発	「2-2 EUC 抽出定義 開発」、「2-3 帳票開発」、「2-4 ローコード開発（処理画面）」など、プロトタイプ開発の数量（帳票数、画面数 等）をご教示ください。	仕様書 7 本委託を実施するための機能要件に記載したとおり、実施対象事業については、委託者と協議の上決定となりますが、プロトタイプ開発の数量（帳票数、画面数等）については、契約期間を考慮して次のとおりで想定しています。  ＜プロトタイプ開発の数量（最大）＞ 画面数：5 帳票数：10 プロトタイプのパターン数：5
《内訳書》 2 プロトタイプの開発	「2-5 電子決裁手続き開発」について、想定される承認フロー、承認階層数等をご教示ください。	想定される承認フローについては、実施対象事業により異なるため、契約締結後の協議事項となりますが、契約期間を考慮して最大で3フローを想定しています。  「2-5 電子決裁手続き開発」で想定する承認階層数は最大5階層程度を想定しています。
《発注情報詳細（物品・委託等）》 注意事項	注意事項に「この契約は、本市契約約款を適用することとします。」と記載がありますが、約款の一部について、ご調整いただくことは可能でしょうか？	原則として、本市契約約款に記載したとおりとなりますが、記載部分の内容の調整は契約締結時での協議事項となります。

<p>《委託契約約款》</p>	<p>業者選定いただけた場合、契約約款の下記事項を調整させていただきたいと考えています。</p> <p>第 24 条 一般的損害</p> <p>第 44 条 委託者の損害賠償請求等 損害賠償の上限が定められていないことが懸念されます。第 24 条及び第 44 条第 1 項の末尾に「また、受託者の負担する損害賠償は契約料金を上限とする。」といった内容の追記をご相談させてください。</p> <p>第 34 条 契約不適合責任</p> <p>第 46 条 契約不適合責任期間 約款第 34 条、第 46 条では契約不適合責任が定められています。実現性調査の性質上、準委任契約（契約不適合責任を負わない契約形態）を前提に、当該条項の削除をお願いしたいところです。</p> <p>削除できない場合には、46 条 2 項に基づき、仕様書等で「契約適合期間は検査完了から 1 か月間とする」等、1 カ月、2 カ月等の記載を明記して、その範囲を絞る（対応する期間を最小限にする）といった方法をご検討いただければと思います。</p>	<p>原則として、本市契約約款に記載したとおりとなりますが、記載部分の内容の調整は契約締結時での協議事項となります。</p>
-----------------	---	--